



< プレスリリース >

デフラグによるバックアップ・パフォーマンスの改善

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

ネットワーク自動デフラグメンターDiskeeper およびファイル復元ツール Undelete の開発元である Diskeeper Corporation (旧 Executive Software 社、本社アメリカ、カリフォルニア)は、デフラグによるバックアップ・パフォーマンスの改善をビジネスアプリケーション研究として纏め発表しました。

データをバックアップする速度は、昨今のハイテク環境の重大な問題になっています。組織のストレージ割当て要件の拡大で、ファイルに基づくデータ・バックアップのためにも必要な時間は、拡大しています。バックアップソフトウェア・ベンダーがプロセスの速度を上げるために技術的な方法で向上させていますが、ディスクの断片化はこのボトルネックを解決するためにファイルシステム・レベル上で対処されなければならない未解決の問題のままとなっています。言い換えると、ディスクのデフラグは、バックアップの速度を上げるためにとても重要です。

ビジネス環境においては、ローカルおよびネットワーク・データのバックアップは、一般的にテープとディスク装置で行われています。データ・バックアップがファイル・アクセスを必要なことから、データ・ファイルの分裂はバックアップ処理時間に重大な影響を及ぼすことが考えられます。断片化は、ディスクにおいてのデータが隣接しないことを意味します。それは断片でディスクの中で散らばります。そして、データをアクセスする際に、連続した場所にデータがない場合、シーク・タイムを必要となることは明らかです。

今回の研究では、装置のバックアップを取るためにハードディスク・ボリュームからデータをバックアップすることを要求される時間が減少することができるとわかり、そして、バックアップのデータ転送速度はデフラグによって高速になりました。さらにまた、ディレクトリ強化には、バックアップとデータ転送速度で直接的なさらなる有効性が確認されました。最高 69% (全体のバックアップ時間が減少します)、バックアップの時間の改善を示しました。ディレクトリ強化の恩恵を I-FAAST (Intelligent File Access Acceleration Sequencing Technology) と結合することによって、バックアップのデータ転送速度をさらに向上させることができました。

上記、研究についての詳細はこちらからどうぞ

http://www.sohei.co.jp/software/whitepaper/Improving_Backup_Performance_0606.pdf

Diskeeper Corporation は全世界で累積 2100 万ライセンスを販売したと先日発表。日本においても今年で販売開始から 10 年という節目を迎え、Diskeeper 10 日本語版も販売され、圧倒的なお客様の支持をいただきながら順調な販売の伸びをみせております。Diskeeper の機能限定版は「ディスクデフラグ」として Windows® 2000 以降に搭載され、デフラグソフトのデファクトスタンダードとなっています。Diskeeper でハードディスクの断片化を解消し、最速のパフォーマンスを獲得してください。

< お問い合わせ先 >

相栄電器株式会社 ソフトウェア事業部
〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-21-15
TEL. 03-3447-7544 FAX. 03-3445-9156
E-mail: info@sohei.co.jp

URL <http://www.sohei.co.jp>

Diskeeper Corporation
Teal Thompson
TEL. 818-771-1600
E-mail: tthompson@diskeeper.com

URL <http://www.diskeeper.com>

